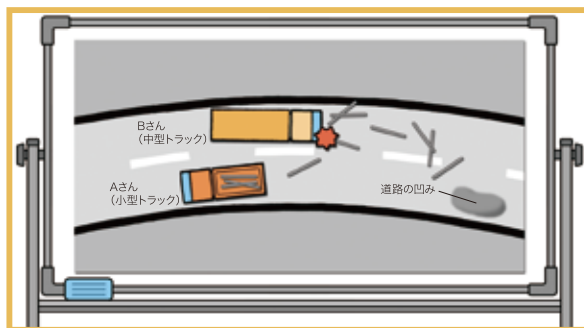


事故事例をもとに安全運転のポイントを紹介。社内での安全運転活動にお役立てください。

事故に
至るまでの
状況

Aさん(男性、50代、小型トラック)は、片側1車線道路を時速40キロほどで走行中、左カーブ地点で積荷の鉄パイプを荷台から落下させてしまいました。対向車線を走っていたBさん(女性、50代、中型トラック)は、散乱してきた鉄パイプに気づき減速と回避を試みたのですが、よけきれず衝突。これによりフロントガラスが割れて、外れてしまうほどの損傷を受けました。さらにBさん自身も、顔面に擦過傷とシートベルトによる胸部打撲傷を負ってしまいました。

事故現場
略図



事故の原因

この事故は、Aさんのトラックが道路にできた凹みで弾んだときに、荷物を固定していたロープが切れてしまったために起きました。Bさんは、避けようがありませんでした。こういった事故を防止するには、適正な

積み付けが非常に重要です。また荷物を満載しているときはいつも以上に運転に留意しましょう。道路の凹みを事前に発見して減速するか回避していれば、事故は起きなかったかもしれません。

安全運転に向けて指導のポイント

荷物を含めた重心が高くないように、また前後のバランスにも気を付けて積みましょう。積載荷重を守り、固定するロープは十分な強度があるものを使用

してください。積載時の運転は普段よりも慎重に行い、急発進・急ブレーキ、カーブや段差などに十分注意しましょう。

今月の安全メモ!

- ・荷物は適正に積載しよう!
- ・荷物がある時は、特に慎重な運転を心がけよう!